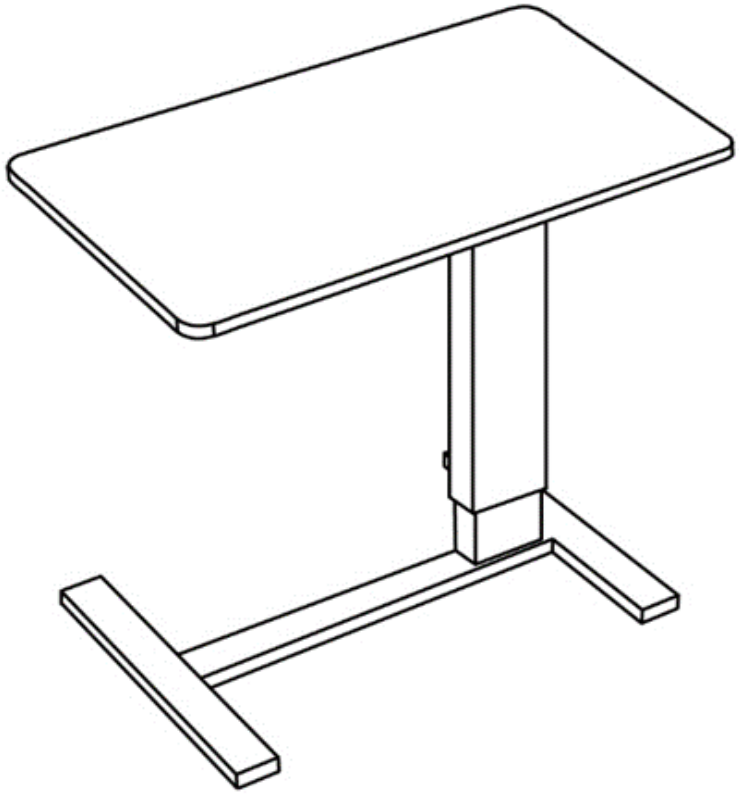
YKSDG70J1T

組立説明書/取扱説明書



この度は YKSDG70J1Tをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に必ず「安全のための注意事項」をよくお読みいただき、正しくお使い下さい。
事故防止など安全のために、注意事項は必ずお守りください。
お読みになられた後は、必ず大切に保管してください。
また、ヒーターに同封されている、取り扱い説明書もよく読んで、お使いください。

取り扱い上のご注意

・この注意・警告事項は、危害や損害を未然に防ぐための重要な内容ですので、必ず守ってください。
・製品および梱包材を廃棄する際は、お住まいの自治体の取り決めに従ってください。
・天災などの不可抗力やお客様のお取り扱い上の不注意、不当な修理、改造による故障、破損に対する保証は致しかねます。

⚠ 注　意

●本品は室内専用のため、屋外では使用しないでください。

●踏み台代わりに使用したり、ゆすったり、強い衝撃を与えないでください。

●棚板や天板の上に集中的に荷重をかけないでください。破損する原因となります。

●長く使用されますとボルトが緩んでくることがありますので、定期的にボルトを締めなおしてください。
その際は、締めすぎに注意してください。破損の原因となります。

●全体のバランスを考え、上段に集中して重たいものを置かないようにしてください。

●組立ての際は、床に布やカーペットなどを敷いてから行ってください。

●本品は組立て後、しっかりと安定していることを確認してから使用してください。

●適切な使用用途以外で使用しないでください。

●直射日光の当たる場所、ストーブ等加熱器の近く、凹凸のある場所では使用しないでください。

●割れやそり、塗装はがれの原因となりますので、エアコンの風等が直接当たらない場所へ設置してください。

●不安定な場所で使用しないでください。倒れると破損の原因となります。

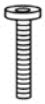
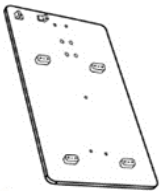
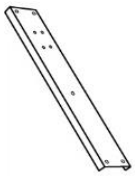
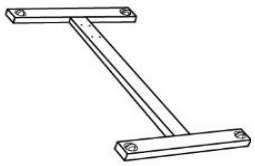
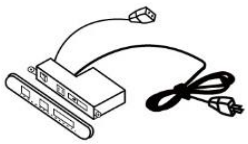
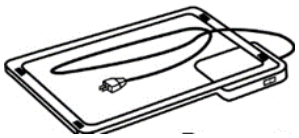
●本体のお手入れの際は、乾拭きもしくは、固く絞った布で軽く拭き取るようにしてください。塗装はがれや傷がつく原因となります。
シンナーやベンジン等は表面をいためる原因となるので、絶対に使用しないでください。

●本体の設置、移動の際は、引きずらず、必ず持ち上げてください。
破損の原因になります。

●家具の表面に、シールや粘着テープなどを貼らないでください。

●ヒーターの取り扱い説明書は、必ず確認し使用してください

部品一覧　（※各部品、数量が揃っているか確認してください。）

A　レバー×1	B　6角レンチ/プラスドライバー×1	C　スプリング×13
D　ボルト×4	E　ボルト×4	F　ボルト×5
		
G　天板×1	H　補強プレート×1	I　シリンダー×1
		
J　脚×1	K　コンセント×1	L　ビス×2
		
L　コード止×2	N　ビス×2	O　コードクリップ×1
P　ビス×4	Q　固定金具×4	R　ヒーター×１
		

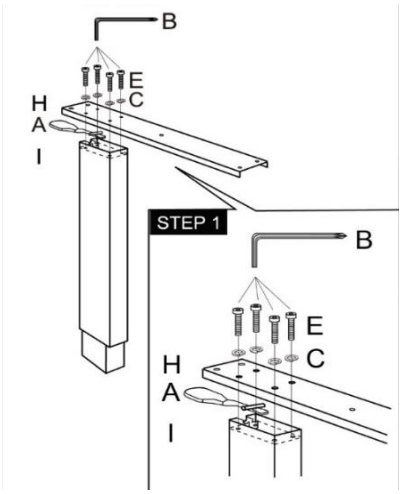
※ヒーター梱包内に封入されてます。

組立て手順　　（※各部品、数量が揃っているか確認してください。）

※組立ての際は、各部品にボルトを全て付け、仮止め状態にした後、しっかり最後まで締めてください。

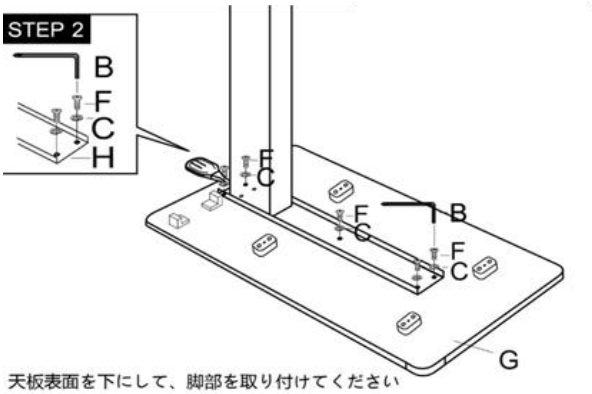
①　シリンダー組立

図のように、Iシリンダー、H補強プレートの間に、Aレバーを差し込み、EボルトとCワッシャーを使用し組立てください。その際レバーはしっかりシリンダーの溝にはまるように組立てください。



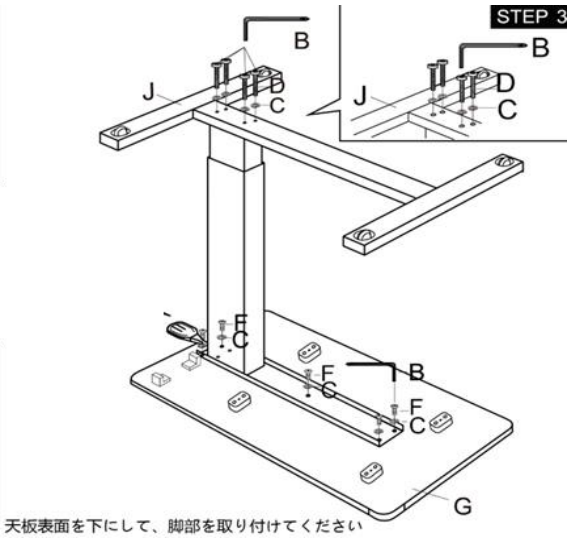
②　天板とシリンダーの組み立て

図のように、G天板に、①で組んだ補強プレートをFボルトとCワッシャーを使用し組み立ててください。



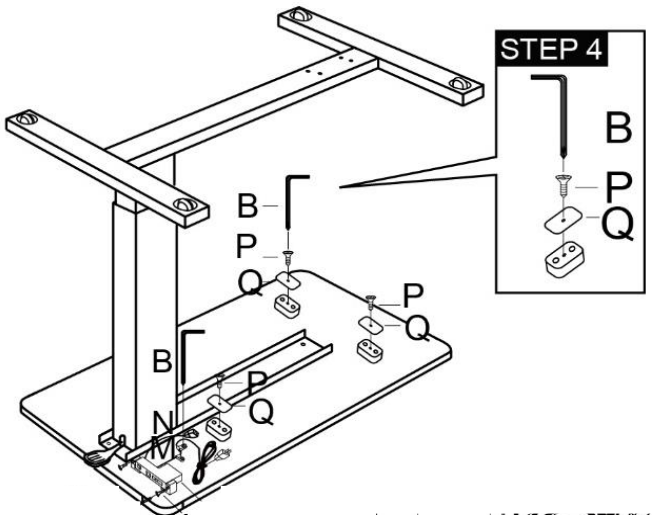
③　脚とシリンダーの組み立て

図のように、J脚を、DボルトとCワッシャーをを使用して組み立ててください。



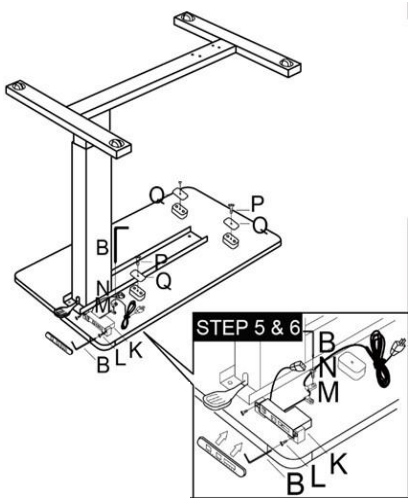
④　固定金具の取り付け

ヒーター内に封入されている、Q固定金具を天板裏についている、取り付け位置にPビスを使用して取り付けてください。



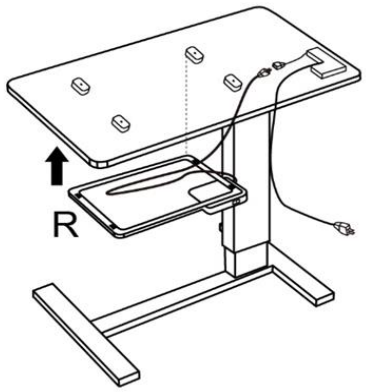
⑤⑥　コンセントの取り付け

Kコンセントを、Lビスにて二カ所止めてください。また、Mコード止にKコンセントのコードを通して、Nビスにて固定してください。



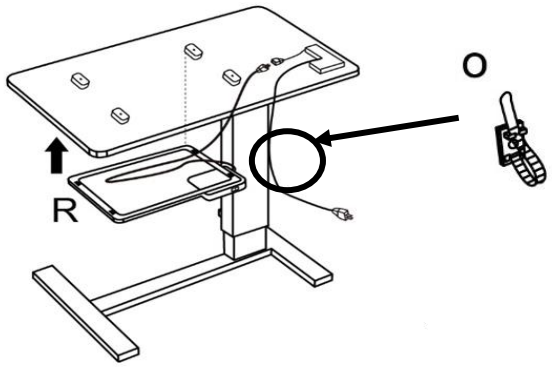
⑦　ヒーターの取り付け

④の固定金具とヒーター内の磁石の位置を確認して取り付けてください。
コンセントの背面プラグと、ヒーターのコードをつなげてください。
※コンセントの背面プラグには、同梱されているヒーターコンセント以外は、つなげないでください。



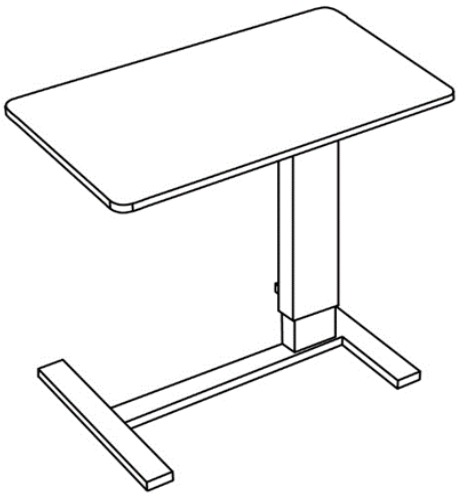
⑧　コードクリップの取り付け

使用時に、コンセントのコードが気になる場合は、Oコードクリップを Iシリンダー側面に取り付けコードを通してご使用ください。
※コードクリップは、コードの通り道を作るため、緩めに空間ができるよサイズにて設定してください。



⑨　完成

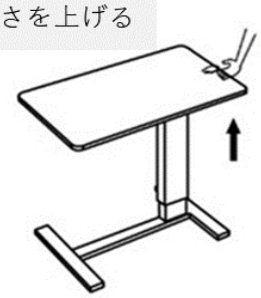
※パネルヒーターは、落下すると、破損やケガの原因となりますので、ご注意ください。



高さ調整の注意点

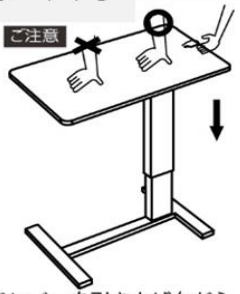
※天板を下げる際は、脚部シリンダーの上周辺をおしながら、下げてください。
天板の先端部を押しながら、下げると、歪み、故障の原因となります。

高さを上げる



ハンドレバーを引き上げながら、
高さを調整してください

高さを下げる



ハンドレバーを引き上げながら、
高さを調整してください